

資料3 生物多様性に関する市民意識調査結果（概要）

1 調査の概要

（1）調査対象及び調査方法等

- ①地 域 新潟市全域
- ②対 象 市内在住の18歳以上の男女
- ③回答者数 400人
- ④調査方法 インターネット調査

（2）その他

集計上の端数処理のため、グラフや表に記載している割合の数値や合計値が合わない場合がある。

2 回答者属性（性別、年齢、居住地域）

- 回答者の性別は、男性47%、女性53%と女性がわずかに多い。
- 年代は40代が31.3%と最も多く、次いで30代が29.0%と多い。

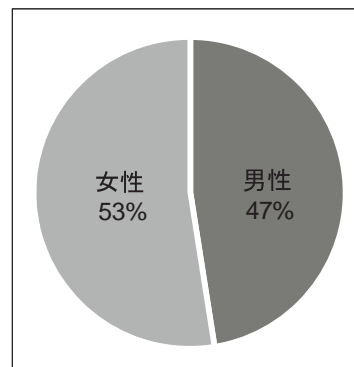
性別・年代別回答者数

		単位:人	
		回答者数	400
性別	男性	190	
	女性	210	
年代別	18歳～19歳	4	
	20歳～29歳	48	
	30歳～39歳	116	
	40歳～49歳	125	
	50歳～59歳	69	
	60歳～69歳	31	
	70歳～79歳	7	

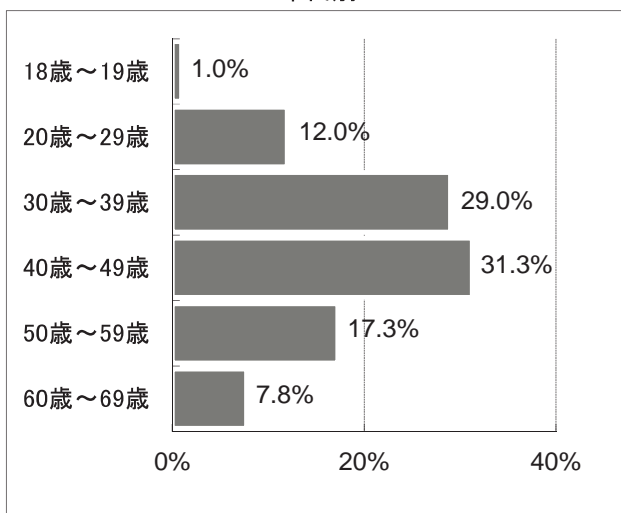
居住地域別回答者数

		単位:人	
		回答者数	400
北区	32		
東区	72		
中央区	96		
江南区	33		
秋葉区	32		
南区	10		
西区	97		
西蒲区	28		

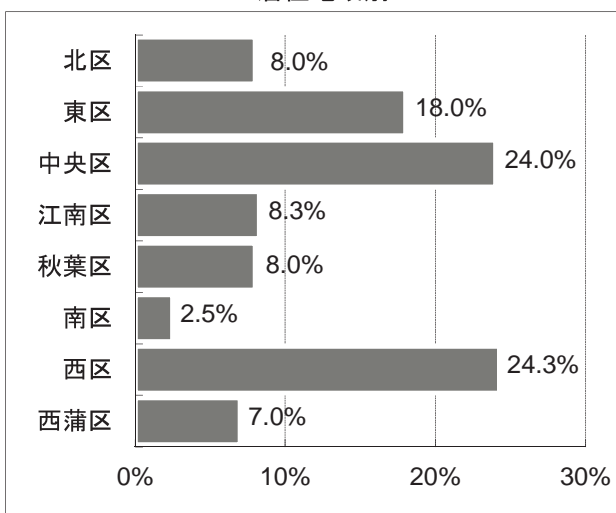
性別



年代別



居住地域別

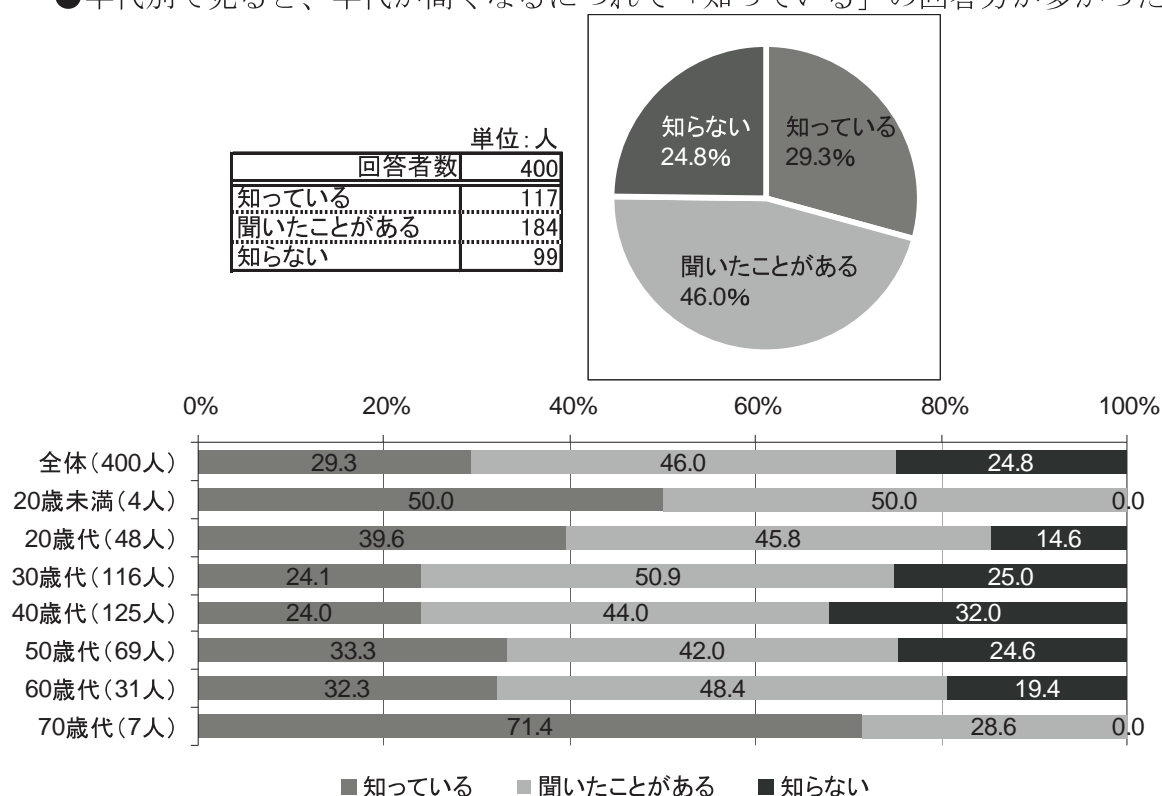


3 調査結果

(1) 「生物多様性」の認知度

問1：「生物多様性」とは、すべての生物がつながって生態系の豊かさやバランスが保たれていることを意味しますが、あなたは「生物多様性」という言葉をご存じですか。

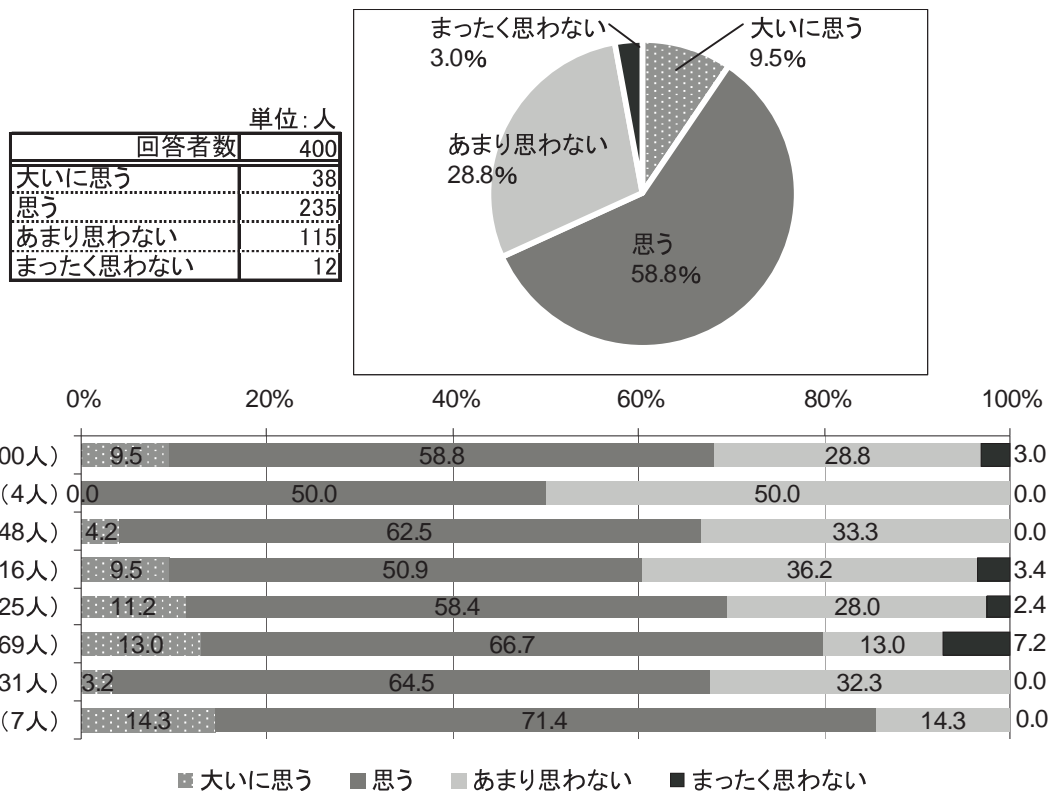
- 「聞いたことがある」が46.0%と最も多く、次いで「知っている」の回答が29.3%であった。
- 年代別で見ると、年代が高くなるにつれて「知っている」の回答方が多かった。



(2) 「新潟市」への意識

問2：新潟市は、多くの生きものが暮らす自然豊かなまちだと思いますか。お気持ちに近いものをお答えください。

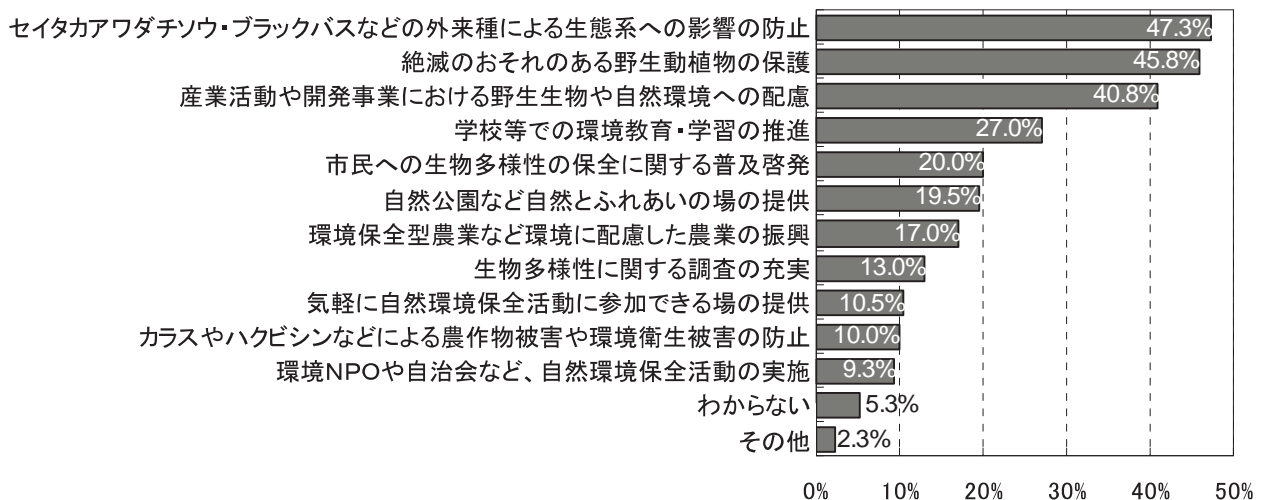
- 「思う」が58.8%と最も多く、次いで「あまり思わない」が28.8%であった。
- 年代別で見ても、「思う」が50%以上を占め、50歳代や70歳代では「大いに思う」「思う」の意見が全体の8割以上を占めるなど、市民の自然に関する意識が高いことが分かった。



(3) 生物多様性を低下させないために重点的に取り組むべきこと

問3：人間活動によって引き起こされる現在の生物の絶滅は、1年間に4万種程度と過去とは桁違いの速さで進んでおり、生物多様性が急速に低下しています。これ以上、生物多様性を低下させないために重点的に取り組むべきであると思うことは何ですか。下記の中より3つまでお選びください。

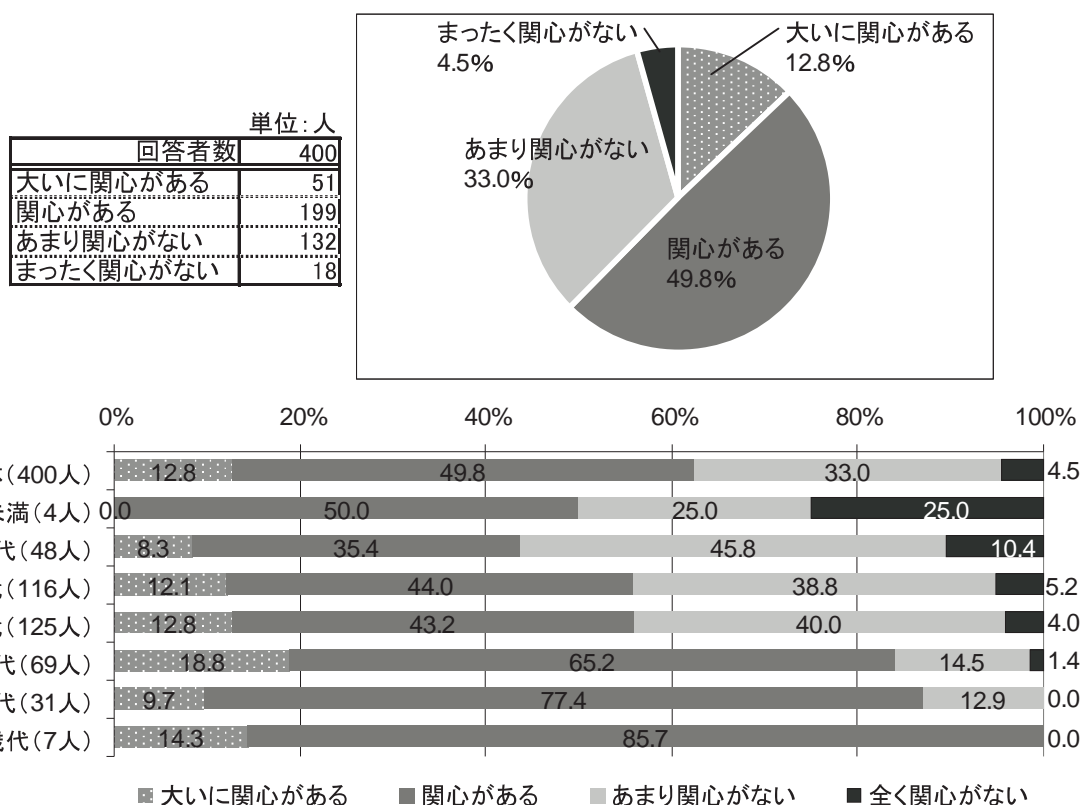
- 「セイタカアワダチソウ・ブラックバスなどの外来種による生態系への影響防止（47.3%）」、「絶滅のおそれのある野生動植物の保護（45.8%）」の回答が多かった。



(4) 身近な生きものへの関心度

問4：あなたは植物・野鳥・昆虫などの身近な生きものへの関心はありますか。

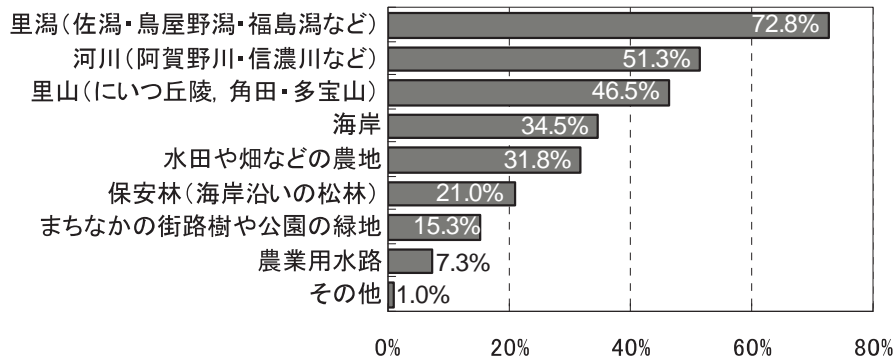
- 「大いに関心がある」「関心がある」は全体の6割以上を占め、生きものへの関心の高さが伺えた。
- 年代別で見ると、「関心がある」の回答は、年代が高くなるにつれ、割合が高くなっていった。また、20歳代では、「あまり関心がない」「まったく関心がない」の回答が5割以上を占めるなど、若年層の生きものへの関心の低さが伺えた。



(5) 新潟市の自然の中で特に保全すべきだと思う場所

問5：新潟市の自然の中で特に保全すべきだと思う場所はどこですか。あなたが保全すべきだとお考えの場所を3つまでお答えください。

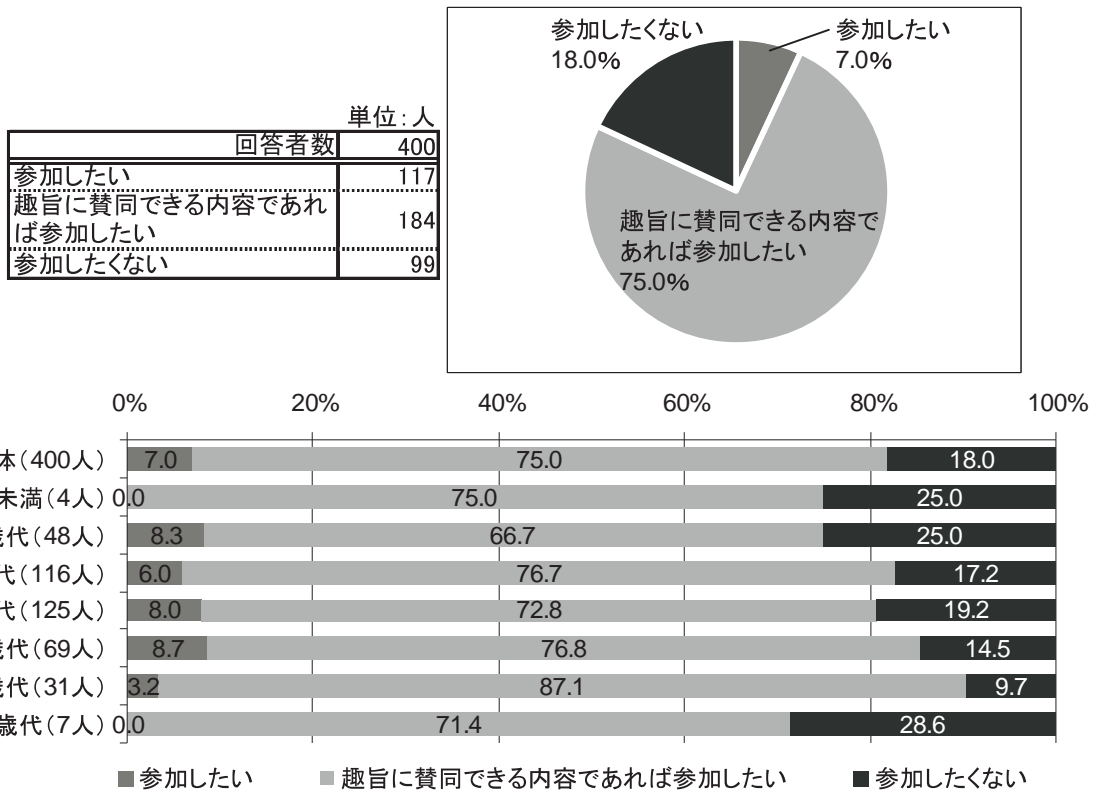
- 「里潟（72.8%）」や「河川（51.3%）」、「里山（46.5%）」、「海岸（34.5%）」を保全すべきとの意見が多かった。



(6) 自然環境保全活動への参加意向

問6：新潟市の各地で、自然観察会、水辺や里山などの保全活動、植樹活動、雪割草など希少動植物の保護活動など、さまざまな自然環境保全活動が行われていますが、これらの活動に参加したいと思いますか。

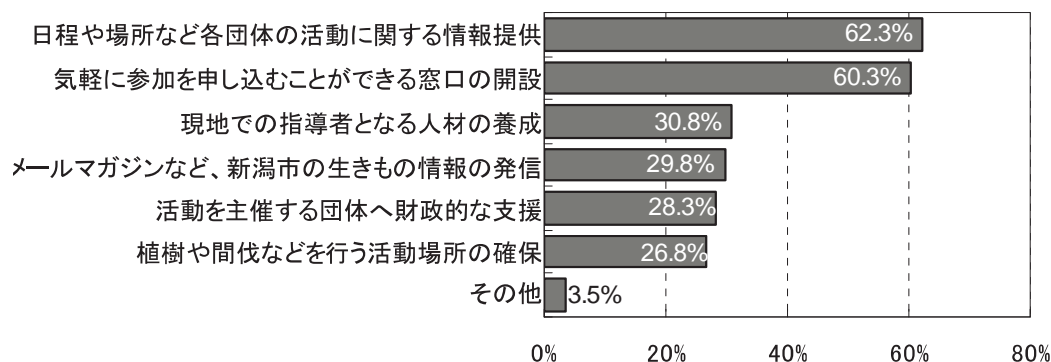
- 「参加したい」「趣旨に賛同できる内容であれば参加したい」の回答は全体の8割以上を占め、活動への参加意識の高さが伺えた。
- 年代別で見ると、「参加したくない」の回答が、20歳未満、20歳代、40歳代で約20%～25%を占めた。その理由として、「あまり興味がない」「面倒くさい」の意見や、「時間がない」「忙しい」などの意見が多く見られた。



(7) 自然環境保全活動に多くの方々に参加していただけるようにするために、行政として必要だと思うこと

問8：自然環境保全活動に多くの方々に参加していただけるようにするためには、行政としてどのようなことが必要だと思いますか。あなたが必要だと思うことを、下記の中より3つまでお選びください。

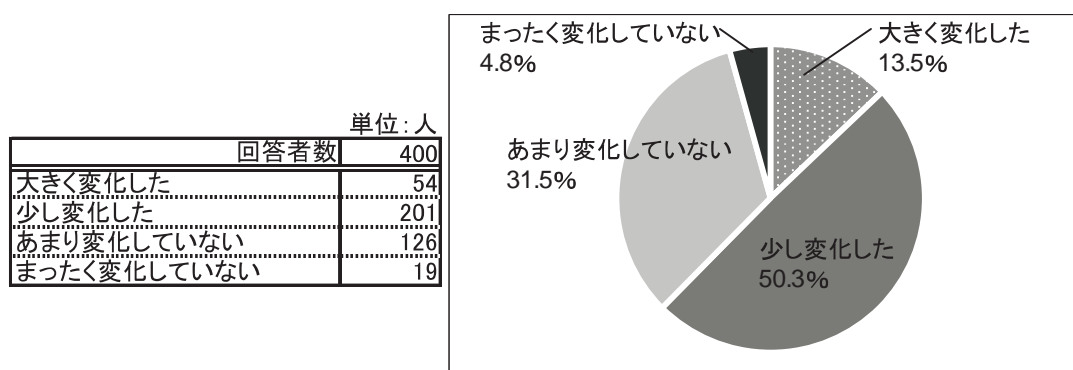
- 「日程や場所など各団体の活動に関する情報提供（62.3%）」や「気軽に参加を申し込むことができる窓口の開設（60.3%）」の回答が多かった。

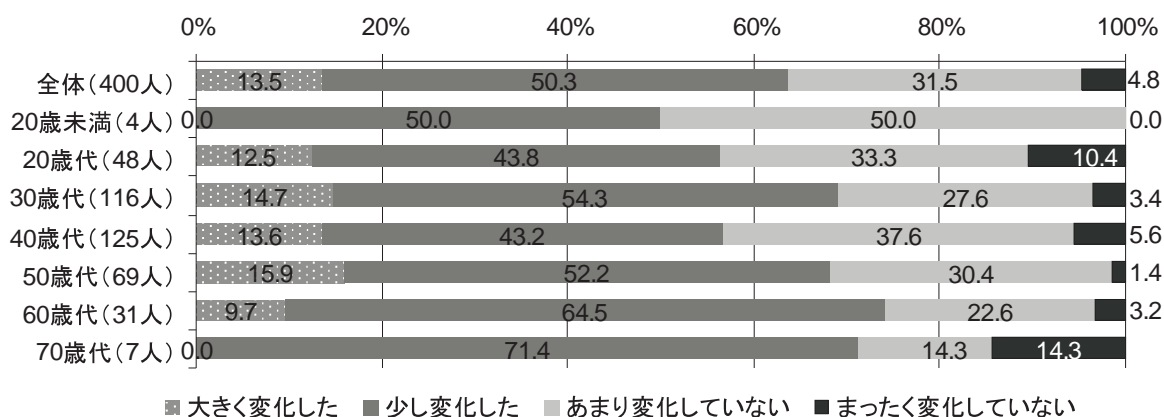


(8) 自然に対する価値観の変化

問9：平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって多くの方々が亡くなり又は行方不明となっています。また、新潟・福島豪雨では、河川の警戒水位を超え、多くの市民の方々が避難されました。このような自然の猛威を経験し、これまでの暮らし方や人とのつながり、自然に対する価値観に変化はありましたか。お気持ちに近いものをお答えください。

- 「大きく変化した」「少し変化した」の回答は63.8%と高かった。
- 年代別で見ると、「少し変化した」の回答は、生きものへの関心の高さと同様に、年代が高くなるにつれ割合が高くなっていた。





(9) 自然に対する価値観の変化の内容

問10：前問で、「大きく変化した」「変化した」と回答された方で、【暮らし方】【人とのつながり】【自然に対する価値観】の3項目に対し、具体的にどのような変化がありましたか。

- 【暮らし方】では、節電や防災対策など、身近にできることを行動に移している回答が多く見られた。
- 【人とのつながり】では、家族や地域の人々とのコミュニケーションをとり、人とのつながりや絆の大切さを感じている回答が多く見られた。
- 【自然に対する価値観】では、自然の偉大さや大切さに気づき、守っていきたいという考え方に変わった回答が多く見られた。取り組みへの参加など、行動が変化した回答は少なかった。

【暮らし方】

分類	%
節電・節約など無駄を省くようになった	49.0%
防災意識・災害時への備えをするようになった	30.0%
命の尊さ・日々の生活の大切さを感じるようになった	14.0%
自然に対する関心・配慮を心がけるようになった	7.0%

有効回答数 243人（趣旨が大きく外れている回答・特になしのような回答は除く）

【人とのつながり】

分類	%
家族や地域（近所・町内会・自治会）の人々とコミュニケーションをとるようになった（あいさつなど）	48.3%
人とのつながり（連絡方法の確認等も含む）、助け合い、絆の大切さを感じるようになった	44.5%
安否確認・避難方法などを検討・確認した	4.8%
地域活動へ参加するようになった	2.4%

有効回答数 209人（趣旨が大きく外れている回答・特になしのような回答は除く）

【自然に対する価値観】

分類	%
自然は怖い、逆らえない、偉大であると感じるようになった（考え方の変化）	52.2%
自然は大切であり、大事にしたい・守っていきたいと感じるようになった（考え方の変化）	27.4%
自然との共存や、生活スタイルを変える必要性を感じるようになった（考え方の変化）	9.7%
自然環境が破壊されていることで災害規模等が大きくなっているのではないかと感じられるようになった（考え方の変化）	4.9%
災害対策等の必要性を感じるようになった（考え方の変化）	4.9%
自然体験など、自然を知る取り組みに参加するようになった（行動の変化）	0.9%

有効回答数 226人（趣旨が大きく外れている回答・特になしのような回答は除く）

（10）生物多様性及び自然環境保全等についての自由意見

問11：生物多様性、自然環境保全などに関するご意見をご自由にお書きください。

【生物多様性及び自然環境保全等についての自由意見（1/9）】

性別	年齢	ご意見
男性	49才	自然保護にも開発にも偏らない、自然との共生する方法を摸索しなければならないと思うのだが、具体的な方策を思いつかない。
男性	41才	「生物多様性」は人間の生活レベルを落としてまで、税金を使ってまで、取り組むべきものかの説明が必要。「自然環境保全」もどこまで取り組むべきかは疑問。
女性	30才	「生物多様性」や自然環境保全活動など、言葉の意味ややっていることを知っていても、普段生活していて身近ではない。一人ひとりが意識して生活できるような仕組みを作らない限り、一部の人がだけががんばるだけの活動にしかならない。
男性	64才	3年前に自然の中で暮らしたいと思い、東京の巣鴨より転居してきました。西蒲区の自然がいつまでも保たれることを望んでいます。
女性	38才	あまり身近な話題ではなかったですが、事態は深刻なようですね。もっとその深刻さを広めてほしいなと思います。
男性	46才	あんまり考え過ぎないほうが良い。
女性	38才	きれいな川、湖、ダム、水辺の美しい景観が大好きです。今後もみんなで自然を大切に、魚や虫、自分たちを取り巻く生物を大切に保護してほしいです。
女性	49才	こうなったのは全て人間が原因。地球上に人間がいる限り私利私欲でいろんなものを壊していくのだと思う。
女性	34才	このあいだのテレビ番組で放送されていたが、行動が後手になるほど大変になると言っていた。がん治療のように早期発見早期治療（早期保全）が必要だと思います。
男性	63才	このアンケートが来て、始めて、考えました。
女性	20才	このような活動はしなくてはならない重要な活動だと思っはいるものの、個人で具体的に活動するというのは嫌だというのが本心です。政府に頼りたいところではありますが、信頼できるのか悩んでいます。
男性	62才	この前に書いた事を意識して、壊すのは一瞬ですが、再生には気の遠くなるような時間が掛かることを、はっきりと認識させる事が大事。大人になってから言っても、もうだめ。子どものうちに、しっかりと教育しないと、理解は出来ないし、自然に対する意識は変わらない。自然を大切に、なんて言っても、なんで大切なのか理解しなければ、どう大切にして良いか分からない。気がついた時には、もう遅い、なんてならないようにしてほしい。

【生物多様性及び自然環境保全等についての自由意見（2／9）】

性別	年齢	ご意見
女性	25才	ごみを減らしたり身近なことから取り組んでいきたい。
男性	46才	ごみを減らす。
男性	56才	これまでの文化的な急成長を見直すべき。
女性	44才	これ以上壊さないよう心がけていきたい。
女性	34才	セイタカアワダチソウに関して、かなりのスピードで増殖している様子を目にしている。新潟は自然豊かなところであるがゆえ、いったん外国の種が入ってくると、その自然がある分だけ増えていき、今までの生態系を破壊しているように見える。生物だけでなく、植物の猛威も感じているところだ。
女性	43才	ただ人間の都合のいいように整備するのではなく、共存できるような環境の整え方をしてほしい。
女性	52才	できるかぎり自然を壊さない環境になるといい。
男性	40才	できるところから自然保全を。
男性	50才	テレビ番組などを利用し、もっと多くの人が興味や共感を持てるような広報活動も必要。
女性	27才	トキの数が実際に増えているので策をなすことは必要だと思った。
女性	29才	どちらも大切に守って行かなければいけないことは理解しているが、今の便利な生活を続けて行きたい気持ちもあり、複雑です。
女性	38才	とても大事なことだと思う。
男性	51才	とにかく、人間の意識の重要性だと思う。意識を変えていってほしい。
女性	61才	どの生物も必要があるから、地球で生かされている自然を破壊することなく、人も地球の生きものの一種として他の生物とともに自然体で生きることが必要。便利すぎるのも考えもの。もう一度ゆっくり生きていくと良い。
女性	41才	なくなってしまうからでは遅いので、未来のために今から保持していけるといいと思う。行政の力が試される時だと思う。
女性	29才	なるべくみんな環境を整えていきたい。
男性	36才	なるべく今のままの自然環境を残してほしい。
女性	37才	なんらかの対策は絶対必要だと思います。でも、具体的に何をすればいいのかわからないし、自発的に何か行動を起こすことも面倒なので、行政がいろいろと配慮して行動して貰えるといいと思います。
男性	29才	ニュース等でよく見るが、日々の生活の中で実際に感じたりすることが少ないので、実際に触れたりして日々考えて行動できるような環境をつくってほしい。
男性	35才	ペット販売を禁止して捨て猫や捨て犬、保健所への持ち込み、殺処分を全面禁止して、身近な動物の命への取り組みから命の大切さを教える事が一番大切。そこからやっと生物や環境に目が行くことになる。
女性	47才	まず市民や学生（生徒、児童など）に知らせることが一番にするべき対策と思う。
男性	38才	まだまだ市民の関心は低いと思います。親しみやすいアプローチで、正しく啓発していくことが、よいムーブメントを生んでいくものと考えます。
女性	47才	まったくどのようにしたらいいのかかわからないが、わかるように説明してもらえたら、協力できること、自分でできることは是非やりたい。
女性	39才	もうちょっと関心が持てるよう公的機関に動いてもらいたい。
男性	44才	もう引き返せないところまで来ているのではないかという危惧がある。
男性	57才	もっと、気持ちを楽に取り組むことが出来るように、行政は考えてもらいたい…。
男性	29才	もっとこの考え方が広まっていったらと思う。
女性	42才	もっと自然と密接な生活をしていることを認識して暮らしたい。
女性	19才	もっと色々詳しく調べていきたいと思った。
女性	21才	もっと税金をかけるべき。
男性	34才	もっと幅広く広報活動して欲しい。
男性	45才	より広く、詳しい情報提供があればと思います。
女性	22才	ライフスタイルの変化によって、自然環境への関心が薄れていってしまい、現在のような悲惨な状況になってしまったのだと思います。一人でも多くの人が関心をもち、その状況に気付けるように、きっかけをつくっていくことが重要だと思います。
女性	45才	以前に比べると、空き地がほとんど住宅地になり、身近に自然を感じられる場所がなくなっていくことを少しさびしく感じています。
女性	45才	意義のある活動だと思う。
女性	37才	一個人ではなかなか活動できない分野だと感じるのであらゆるメディアを通じて情報を提供してほしい。
女性	34才	一人でできることではないので、みんながもっと必要性を感じる世の中になってもらいたい。
女性	33才	一人でやっても小さいことだとしても、皆が少し意識するだけで守れる命、守れる自然があると思う。
女性	20才	一人一人がエコを心がけることが大切だと思う。
女性	60才	一人一人が関心を持つこと。
女性	29才	一人一人が考えて行動しないと一部だけが活動してもあまり意味がないと思う。
女性	55才	一人一人の力は微力でも関心を持って出来ることに協力する。その努力をする。
男性	39才	一部の人、団体の利益のために発表したり、隠蔽したりをせずに、全てを平等に公開していくようにしていただきたい。
女性	35才	一部の人ではなくて、世界レベルで考えていかなければいけない問題や課題なのだと思う。
女性	50才	温暖化の問題もそうですし、自然環境の保全に対して、できるだけ専門家の意見をどんどん社会に流してもらい、多くの人が自分自身で何が出来るのかを考えられるような社会にして、自分自身も少しでも環境を壊さないように、努力していきたいと思っています。
女性	46才	何か協力したいが、具体的に何をしたら良いかわからない。

【生物多様性及び自然環境保全等についての自由意見（3／9）】

性別	年齢	ご意見
男性	41才	加速度的に自然破壊が進んでいる世界に対して、日本ができることを訴えて、将来のプレイヤーに良い環境を残すべきである。
男性	55才	河川等は人間の生活効率を優先している為、葦や水草などの自然環境が昔に比べて悪くなっている。
女性	35才	河川敷の不法投棄が目立つので気になる。
女性	55才	海外からの動植物の持ち込み全面禁止。
男性	34才	海岸のごみが多いので、何とかしてほしい。
男性	33才	海岸線の浸食が酷い。飛砂も酷い。
男性	68才	外国からの野草をなんとかしなければと思う。
男性	30才	外来種がいなくなしてほしい。
女性	50才	外来種が増えているように感じる。
女性	57才	外来種が大手をふって繁殖している事に腹立たしいと思っています。
男性	60才	外来種が繁殖しないよう持ち込まない。
男性	47才	外来種など、不要な物を増やさなかったり減らす努力をした方が良いと思う。
女性	41才	外来種によって絶滅危惧種が危険にさらされている番組を見て、手遅れにならない内に早く何かしらの対策をした方が良いと思いました。
男性	38才	外来種の根絶・立ち入り禁止区域の増加などに力を入れるべきです。
男性	38才	外来種の根絶を検討する。ブラックバスの駆除、セイケアワダチソウの排除をするなど、自分にできることを、積極的に行いたい。ピオトープ管理士を取得。
男性	77才	外来種の持ち込み禁止、また現在所持している外来種の登録制を厳しくすること。
女性	51才	外来種の増加はもはや止められなくなっている。
女性	41才	外来種の多さは身にしみて感じます。
女性	47才	外来種の猛威には驚かされる。
男性	38才	外来種の流入を止めるべき。
男性	42才	外来種は持ち込まない、また数を減らしていく努力をする。
男性	63才	外来種放棄・・・厳罰！
男性	52才	外来生物が生息圏を広げていることが非常に気になる。駆除できないレベルまで多くなったものと従来の生物連鎖が相容れないだろうから、今後どう変化するのか不安がある。
女性	37才	街中にもっと公園があるといいです。
女性	37才	街路樹を街の緑にするのは間違っていると思う。街路樹は通行の邪魔です。チマチマとした木を植えるのではなくもっと根本的に見直すべき。
男性	49才	各個人が関心を持つよう行政は指導していくべきである。
男性	59才	各種保護対策の公的機関の本気度が知りたい。
男性	64才	活動や保護事業の効率性から団体を主体とした施策になるのであれば、団体は主義主張等で固まり易く、変に偉ぶったり、縄張り意識さえ持つことがあり、団体外の人と乖離することがある。自然環境の保護、保全には人々の意識の高まりこそが重要だと思うので、地道に個人の啓蒙を行い、行政のコーディネートで個人として参加する・参加し易い環境を整えることが肝要だと思う。
男性	41才	環境に配慮した開発（道路を作る等）を行ってほしい。
男性	39才	環境バカにならない様に努めたい。
女性	38才	環境を守りつつ、人間もその輪の中に入れるように考えなければいけない。
男性	31才	環境を守ることが自然災害を最小限に食い止める最善の策だと思う。
女性	40才	環境を保全することはみんなで協力しあうことが大事なので、市報にいがたなどで積極的に情報を発信してほしい。
女性	20才	環境保護の運動は頻繁に行い、人々の環境保全への意識を高めるべきだと思う。
男性	40才	環境保全がなぜ必要かを小学生の頃から教えてあげないといけないと思う。
男性	51才	環境保全などこれから続けていく必要がある。
男性	61才	環境保全を進めるために空き缶やたばこのポイ捨てなどの罰則の必要性を非常に感じる。
男性	44才	環境保存のための地域を確保すべき。
女性	41才	企業も自然保護を積極的に。
男性	55才	基本的には手遅れであると思うが、以後に続く世代のために、人類の絶滅までの期間を出来るだけ遅らせる努力をするべきなのであろう。
男性	57才	機会があれば、実際に参加して協力をしたいと思っている。
男性	40才	気楽に参加できるイベントがあるといい。
男性	61才	近年、マンション2Fでのガーデニングで昆虫の生息、来鳥等により、生物変化がみられる。
男性	51才	具体的な情報の発信と対策などのアピールが必要。
男性	42才	具体的に何をすれば環境保全することができるのか分からないのでネットやテレビなどでアピールして欲しい。
男性	36才	結局はエゴなのだけれども、持続可能な環境を守らないと、我々の生活がままならなくなる危険性があると感じる。
男性	62才	結局自分が汚したり捨てたりした物は食物連鎖で自分に跳ね返ってくる事を子どもの時から学校で学ぶ。便利に成る事が必ずしも幸せか、自然を壊してまで物欲に走る事、スピードを追い続けて大気汚染で、病気環境汚染色々な事が悪い方向に向かっている。
女性	46才	建物を建てるために緑をなくしすぎだと思います。
男性	25才	見直す時期に来ていると思う。

【生物多様性及び自然環境保全等についての自由意見（４／９）】

性別	年齢	ご意見
男性	63才	元々生物学者・解剖学者・両生類爬虫類研究会会員で有ったので、新潟の両生類などの成育状況などには興味があった。山間部の田圃の耕地整理特にU字溝の設置により、用水路の水草や泥葦原等の消失や、土で出来た畦の消失などにより多くの水辺の生物が失われていったので、用水路や小川のコンクリートを何とか土に戻して欲しい。
女性	28才	現在の生態系を守ることも大切だが、環境が変化していく中、地球上生物の淘汰はやむを得なく、絶滅危惧種を守るだけが重要でない。これらの生物は、遺伝的にも環境に対応しきれない生物であるためである。それとは別問題で、環境をより善く、つまり汚染などを改善することは、生物の存続そのものに関わるので、とても重要である。
男性	48才	言葉自体が聞きなれないのでピンとこないのが実感です。
女性	51才	個人が意識して暮らすようにしなければならないと思いました。
女性	40才	個人でできることは限られちゃう気がする。
女性	53才	個人ではどうしてよいかわからないので、自治体などで知らせて欲しい。
女性	45才	護岸工事をするのは良いことなのだろうが、コンクリで固めてしまっは、周りにあった草木が無くなり、水鳥などにもえさ場が無くなるなど影響があるのではないかと思うが…いかがなものか。
女性	51才	効率や便利だけを追求しすぎず、自然との共存を考えながら生活すべき。
女性	67才	広くボランティアを募って皆で考えることが良いと思う。
女性	46才	考える事だけでなく実行しないと意味が無い。
男性	61才	荒れはてて整備されなくなった遊歩道が増えている気がします。それなりの費用をかけて作ったのでしょに、名前だけの遊歩道だけではまったく意味がありません。自然に興味をわくような環境をきちんと継続し、そこから自然の良さを体験し、その後自然の大切さを実感できるような気がします。
女性	49才	行政主催の環境保全活動や有志による地域活動も良いが、一番大切なのは日常生活の中で自分にもできる環境保全行為をしっかりと意識して(たとえば生活排水から洗剤を減らすとか、やたらに除草剤を撒かないなど)気をつけることではないかと思う。
女性	64才	今こそ次世代のためにも 本気で環境を整えていかなければならないと思う。
男性	58才	今以上に経費を掛けて、保護活動を推進すると共に、ペットや観賞用植物など動植物の輸入規制を強化するべきかと思います。研究用など特別な場合を除き、原則的には輸入禁止にするべきです。
女性	24才	今以上深刻にならないよう世界規模で動いて欲しい。
女性	27才	今年からいきなり去年まで一羽もいなかったオナガが大量発生している原因が知りたい。
女性	47才	今迄あまり興味のなかった人でも気軽に参加できるように工夫してほしい。
女性	63才	最近、外来種のセイタカアワダチソウが勢力を急速に拡大していることに恐れを抱いている。
男性	28才	災害等、厳しい状況が続きますが、こういった活動は長い目で見れば、自らのためとなると思います。直接的な活動はもちろん、そういった取り組みを行う企業等を後押しするシステム、それに好感を持てる市民意識の醸成が必要と感じます。
男性	38才	子どもたちに、多くの生物や自然にふれあう機会を設けたい。私は、そのような機会を子どもに積極的に儲けたいと思うが、学校でもそのように取り組んでほしいと思う。そのためには、その為の指導者が必要だと思う。多くの先生がそのようなことに積極的であれば、あえて指導者を育成する必要はないと思うが。
女性	38才	子どもたちにつたえるべく、学校でそういった授業や校外学習をふやしてほしい。
女性	35才	子どもでもわかる表現、説明がされてあるとわかりやすいと思います。
女性	27才	子どもの頃からの教育を徹底的にした方がいい。
男性	43才	市民とのコンセンサスを得ながら、具体的な保護活動を進めていくのが良いと思います。
女性	36才	市民レベルまでブレイクダウンできていない問題に思う。
女性	57才	私が住んでるところから近い佐潟は自然環境保護地区になっています。生きものが安心して生活できる保護地区が増えたらいいと思っています。
女性	43才	私たちが子どものころによく目にしていた生きものが、いつの間になかなかお目にかかれぬ物へと変わってしまいました。実に嘆かわしいことです。そして、子どもたちが川や用水路や草むらなどで元気に遊ぶ姿も見ることが少なくなっています。このような状態では、子どもたちの自然への関心はどんどん薄れゆくことでしょう。なんとかみんなで自然環境保全に目を向け、自分たちの未来や美しい日本・地球の未来を守ってゆけるよう行動したいものです。
女性	41才	私たちの生活が豊かになりすぎて、生物や自然が壊されていると思う。
女性	23才	私たち人間中心に考えてしまいがちになるのが難点なのですが、環境の為になるように生物多様性を保っていくべきだと思います。なんでもかんでも守るのではなく。
女性	46才	私たちの生活が豊かになり、便利になる反面、森林伐採による砂丘化や生物の減少などさまざまな問題も発生する。私たちは地球に住まわせて貰ってるという認識の元行動するべきである。
男性	27才	事業所ごみの削減を呼び掛けたいほうがいいと思う。
男性	45才	時代が変わっているのである程度の自然淘汰は仕方が無いと思うが、外来種の持ち込みは規制を強化すべき。
男性	66才	次世代のために悪影響をおよぼさないよう努力すべき。
男性	59才	治水と環境保全の両立。
女性	33才	自然があふれる場所などをもっと積極的に市民にアピールする必要があると思う。
女性	46才	自然が少なくなり建物ばかり増えているのである程度の自然は残して欲しいです。
女性	27才	自然と人間が共存できる街になるといいです。
男性	38才	自然と人間とがうまく共存できる社会になって欲しいと思います。
男性	50才	自然と生き、自然に生かされているという謙虚な気持ちを皆が持てれば、問題は少しずつ改善できると思う。

【生物多様性及び自然環境保全等についての自由意見（5／9）】

性別	年齢	ご意見
男性	41才	自然と利便性の調和が大切だと思います。
女性	25才	自然には興味ないことも多いけど、大切だと思う。
男性	48才	自然に対し過剰に手を加え過ぎだと思う。いわゆる保護だけが保護することだとは思わない。
男性	46才	自然に任せよう。
男性	30才	自然はまだまだ分からないことも多いですが、守っていかなければならないこともあるということが分かりました。
女性	46才	自然は守りたいが、具体的に何をしたら良いかよく分からない。
女性	62才	自然も大切と思うが、行き過ぎた保護は、考え物。人間とのバランスのとれた、町作りを目指すべき。
男性	50才	自然や環境の保全は、自然の中で生かされている人間にとって最大限のやるべき義務である。
男性	52才	自然や環境を建前にする反社会団体への対策は、暴力団対策以上に強化すべき。
男性	36才	自然をできるだけ残した豊かな町になってほしい。
男性	62才	自然を壊すのは一瞬で壊すことができるが、再生するには気の遠くなるような時間が必要であることを、子どものうちから理解出来るように教育してほしい。大人になると、お金と両天秤にかけ、お金になると思うと自然の事なんか考えなくなるので、教育が大事だと思う。
女性	20才	自然を護るといよりも、負担をかけすぎないように生きたい。
男性	55才	自然を守らないといけない。
女性	29才	自然を守ることと、災害を一緒に考えたことがなかった。
女性	48才	自然界は、人間のエゴでここまで不安定化になったはず。私たちに出来る事、自然と共存して行く事、今の私たちが意識して学ぶべき問題は山積みだと思います。
男性	56才	自然環境の保護などは、幼い頃からの教育によって、多くの人々が同じ価値観を持たないとなかなか進まないと思う。
男性	71才	自然環境の保全が何よりも大切ではないのかと思っている。
男性	58才	自然環境の保全により、生物多様性の確保を図ること。土木偏重の国の施策の見直しを行うこと。
女性	29才	自然環境は守っていかなければならないことで、自分にもできることがあれば参加していきたいです。しかし、実際に活動している情報を簡単に知ることができれば参加しやすいと思います。
男性	31才	自然環境は守っていききたいです。特に汚い川が多いのできれいにできればいいと思います。
男性	31才	自然環境への保全は常に心がけて生きていくべきだと思います。
男性	40才	自然環境をまもりつつ災害にそなえる。
男性	44才	自然環境保全が生物多様性の保護につながる。
男性	75才	自然環境保全の大切さをもっと徹底すべきである。
女性	37才	自然環境保全の団体で、市民が参加できる活動は日曜日が多いけれど、自分は日曜日に用事があるので、なかなか参加できないです。新潟市の田園地帯では、道路で車にひかれるバッタやカマキリなどの虫、カエル、ヘビなどが多く、これらの生物が横断できる通路ができるといいと思っています。
男性	64才	自然公園を増やして欲しい。
男性	35才	自然破壊＝「人間だけ」が住みよい環境を作る。だから、「自然環境保全」で生計を立てられる雇用と仕組みがあると良いと思う。「利益になるならやる」という時代なのだから。
男性	44才	自然破壊を食い止めなければならない。
女性	43才	自然保護は大切。
男性	29才	自然保護は大切だと思うが、長いスパンでやる必要があると思うとなかなか手を掛けられない。専門家には頑張って欲しい。
男性	45才	自然保護も自然破壊も同じ人間のエゴイズムの思想であると思います。どの状態の自然が正しいかを論じるのではなく、他の生命によって人間は生きている事の道徳観を広めた方が、自然と相互に関わって生きて行くことの出来る社会が形成されるのではないのでしょうか。
男性	44才	自然保護や環境保全などは大々的に行われるものではなく、個々の意識によって日常的に「当たり前」になされるものと思います。ちょっとしたことを皆が気をつけることで自然環境へのストレス、人へのストレスどちらも減らすことができるでしょう。私が関心をもっているのは、あえて法律を使うのであれば、ペットの扱い(器物→家族)、飼育許可についての法律です。これらの変更、強化により、外来種の増加や野良猫、かわいそうな犬が少しは減るのではないのでしょうか。それは人の自然への意識を変えることにもつながると思います。
男性	50才	自宅で薪ストーブを使用しているが、薪が手に入らず困っている。廃材をもらえる場所を作ってほしい。
男性	59才	自分たちを取り巻く環境に無関心である日本人が多すぎる。口だけで参加しようという意欲がない。(消極的である)
女性	42才	自分にできる範囲でやっていきたい。
女性	34才	自分のやれる範囲のことからできればよいと思う。
男性	56才	自分の暮らしで一杯で自然など考えている余裕がありませんが。自然保護といっても人間にとって都合いい生物のみ保護しようとしている気がします。
男性	67才	自分は登山を趣味とするが、年によって山の植物の様子が違う事を身を持って感じる事がある。登山者とオーバーワークの問題など、悩ましく思っている。
女性	37才	自分たちの身近にある用水路や田畑に自然や虫などの生きものを感じるものだが、それらが一定の割合を超えて減少してはいけないのではないかな？
男性	27才	失うと二度と戻らないものは、大切にしなければならぬ。
男性	38才	失われた森林は、少しずつ植樹で補うのはすばらしいことです。
男性	39才	守れるものは守る努力をする。
女性	38才	トキがたくさん住める新潟になってほしい。子どもたちが大きくなって今も今の田園型都市であってほしい。そのために今できることを始めたい。

【生物多様性及び自然環境保全等についての自由意見（6／9）】

性別	年齢	ご意見
女性	51才	トキが自然で生きていけるようになること。
女性	51才	トキの野生復帰、自然繁殖が成功できればいいと思う。
男性	22才	トキをもっと身近にすればいいと思う。
男性	64才	住民レベルでの意識を高めることが重要で、それには子どものときからの教育が欠かせないと思う。
女性	34才	重要性があまり意識レベルで浸透していないことが問題。もっともっと伝わる方法でわかりやすくアピールしていきたい。
男性	60才	重要性はよく理解できる。
男性	44才	初めの取っ掛かりとして、小さな自治体(町内会)での活動が必要。
女性	31才	将来の子どもたちの為に住みやすく美しい自然を守ってあげたい。
女性	27才	小さい事でも少しずつ何か出来る事はしたい。
男性	49才	省エネルギー社会の充実。
女性	40才	詳しいことは学んでいないのでわかりません。地震の前にクジラ、イルカが打ち上げられていたりする事例に興味を持ったりしてます。
女性	46才	詳しいことは全然わからないが、ペットとして飼っていたものを育てられなくなって、そこら辺に捨てるためにどんどん新しい品種のものが増えていると聞く。人が水を汚すために生物が死んでいく。一人一人の心がまえがないと難しいのではないかなと思う。
女性	32才	上記の問題にも賛同できますが、相反する考えで、人間が犯した自然環境の変化も地球全体の歴史からすれば、自然の流れのような気がします。
男性	52才	常に関心を持つように心がける。
女性	36才	情報が少ないので耳に入りにくい。
女性	41才	新潟では、トキの保護などに関しても自然保護を考えていると思います。これから機会があれば、活動に参加したいと思います。
男性	42才	新潟はいまのところ自然豊かだと感じるが、これを維持していくためには積極的にかかわってきたい。
男性	39才	新潟は遅い。
男性	37才	新潟市には都市公園が少なすぎる。地方都市なのに、あまり生物の存在を感じない。
女性	19才	新潟市は乾田化が進んでおり、湿地生物の減少が問題となっているので、湿地化のための活動が必要だと思う。
男性	67才	新潟市は自然が少なすぎるように思う。もっと公園等多くするべき。
女性	29才	身近なところから始めたいと思います。まず、知る事から。
男性	49才	身近な生きものから大切にしていきたい。
女性	35才	身近な問題だと考えていない人が多いと思います。もっと啓蒙活動が必要かと思えます。
男性	60才	身近にある自然を大事にする工夫を応援してもらいたい。
女性	46才	身近にないのを感じていないが、広い地域で考えていきたい。
女性	34才	身近に起こっていることなのに、他県の映像など見ると新潟ではないから・・・と思ってしまいがち。もっと身近な問題の情報や対策など知りたい。
男性	61才	人が入ることなく保護や保全する部分、人に自然とともに暮らす部分等、地域を工夫して、もっと多くの費用をかけるべきではないか。自然保護に繋がる農業や林業などの産業をより重視していくことも必要と思う。
女性	27才	人と自然が共存できる街になるといいです。
男性	37才	人と自然とが共生できる、社会になっていけたらいいと思います。
女性	51才	人に意識を持たせることは大切なことです。
男性	38才	人に都合のいい自然環境ではなく人以外のための自然をもっと確保するべき。
男性	43才	人の快適な生活と自然の循環。難しいが両方の調和を取ることが豊かな環境だと想う。
男性	44才	人間がいないことが一番いいのかも・・・。
男性	40才	人間からの汚染をみんなで軽減するよう努力する。
女性	48才	人間が一番偉い、というおごった心が一番いけない。人間も自然の一部であり、自然の恩恵を得ていることを忘れてはいけません。
男性	52才	人間が何も持ち出さなければ自然は守られる。
女性	47才	人間が自然を壊していることに一人一人自覚しなければ益々破壊していく。
男性	59才	人間が生きていることは、それだけで何らかの自然破壊につながると思う。
男性	59才	人間が生活することが自然破壊につながると思っている。
女性	58才	人間が破壊してきた事で生態系が崩れてしまった。もう手遅れと諦めずに生態系の従来のあるべき姿に戻す必要と義務があると思う。自分はどんな便利さを少し手放せばよいのかと思う。
男性	45才	人間が便利な暮らしをしない事が自然環境保全につながる。
女性	44才	人間が暮らしやすいように自然を捻じ曲げてしまってきたとは思いますが、今や人間にとっても虫や動物にとっても生きにくい世界にしてしまったと思うから、どうしたら？一番折り合えるのか？考えて社会全体で協力して変えて行かなければいけないと思う。
女性	53才	人間が豊かにくらすための開発は必要だ、しかし自然の均衡を保つための努力を怠ってはならない。
男性	36才	人間にとっての利便性と自然を破壊することのバランスが難しいと思う。
男性	48才	人間的な生活と自然環境保全は正反対。
女性	44才	人間のエゴだけではいけないと思う。
女性	30才	人間のエゴにより、自然破壊化が深刻な問題になっている。洪水などの天変地異は、その表れだと思う。自然の力には絶対に勝てないので、人間は自然に逆らった生活ではなく、自然とともに生きる生活をしていかなければならないと思う。

【生物多様性及び自然環境保全等についての自由意見（7/9）】

性別	年齢	ご意見
女性	27才	人間のせいで、さまざまな動物が絶滅しているのは悲しいので、自分にできることでそれを食い止めることができるのなら、協力していきたいと思った。
男性	38才	人間のための環境保全ではなくそれ以外の生物のための保全をやることでそれが人にとってもいいことに繋がるのではと思う。
男性	39才	人間のみの立場で考えることなく地球規模の視点で、物を見るべきである。
女性	42才	人間の開発によって、失われた自然を、復活させる活動も必要だと思う。
女性	36才	人間の好きな「自然」とは「人間に都合の良い自然」である。そこから離れないことには真の保全はありえない。
女性	53才	人間の住む世界を自然から守るためにも、自然環境保全に取り組むのは、大事なことだと感じる。
女性	34才	人間の利便性だけを追求し続けた結果が今であり、最低限で足りる事を全人類が知らなければならぬ。
女性	59才	人間はちっぽけで自然の力にはかなわない。生物の一員として傲慢にならず生活していくべきだ。
男性	47才	人間は自然に生かされているものだと気付くべき。
男性	36才	人間は自然環境を壊す生物なので、おとしどころが難しいと思う。
女性	57才	人間や企業一人ひとりがもっと地球の生物は共存していることを自覚し今出来ることをやらなければならない。
男性	34才	人間活動が自然に対して大きな負荷になっている事を考えるべき。
男性	60才	人口が減る中、開発(道路を作る等)はやめて、自然保護に資金をまわし、また、自然保護活動にもっと賞賛をするべきです。
男性	44才	人類が増え続けていく限り自然との共生は難しくなる一方である。幸い日本は人口が減少方向に向かっている(これを日本の危機という人がいるが、前述の意味では良いのかと)。従って都市生活域をコンパクトにし、むやみに郊外の造成、道路の整備などはせずに自然の空間を残す事が重要である。
女性	36才	水は大事だと思う。環境保全は水からだと思うので、もっと排水が汚れないような洗剤が発売されたらいいのと思う。
男性	74才	世界人口が70億人を超えたという。地球上にはびこっているのは人間だ。生物多様性、自然環境保護が必要なのは人間が増えすぎたことが原因だ。人間を減らす必要がある。
女性	35才	生活が便利になった分、人間が自然や動植物を支配できる錯覚をおこしがちだが、実は人間も生かされていてそれを忘れて取り返しをつかなくなってしまう。
女性	41才	生活するうえで必要な物と不必要なものをもっと明確にすべき。あまりにも人間が楽をしようと思う気持ちからすべてのことを破壊している気がする。
女性	34才	生態系が崩れたことで地球上の異常気象を引き起こしているのではないかと感じるのもっと守ることが必要と思われる。
女性	41才	生物、自然と共存するために、環境保全が大切。
男性	57才	生物が生きていくうえで必要不可欠。
男性	39才	生物が生きてきた環境を壊さない事が大事だと思います。
男性	47才	生物に対しては人間が欲望のまま世界から珍しい生物を持ち込み、あげくの果てに飼えなくなったから捨てるという勝手な行動から、日本古来の生物を絶滅に追いやっているという現実をどのくらいの人が理解しているか。確かに船や飛行機、海外旅行時に付いてくる生物もいるが大半はそういう売り買いでのものなのでその辺を子ども等に教育していつてもらいたいと思う。
女性	35才	生物の数が減り過ぎないようにすることが重要で、絶滅が秒読みになった段階で手を打っても遅く、その段階で過剰な保護をしても費用がかかりすぎて効果が薄いと思います。
男性	43才	生物の多様性がなぜ必要なかは難しく、理解がなかなかされていないので、わかりやすい内容で啓発活動に取り組んで欲しい。また、社会において生物多様性や自然環境保全は人の生活と相容れない側面もあるため、保全一辺倒ではなく人との共存をどうするかも重要な課題として取り組むべきでしょう。
男性	72才	生物の多様性は理解しながら、ある生物に困惑する事態になることもありますから、保護もしながら生息減にならないような取り組みが必要と思います。
男性	29才	生物多様性、自然環境保全を達成するには利権などのしがらみがないような状況でしか行えないと思う。
女性	35才	生物多様性の影響で、自宅周辺にカメムシが沢山居ます。これも外来種だよなあと思わせるたびに思ってます。
女性	43才	生物多様性の崩壊や自然環境の破壊を防ぐため、植林以外にも、ごみの問題や二酸化炭素排出の抑制などを、今以上に積極的に考えていくべきだと思う。
男性	31才	生物多様性はある程度保たれるべきものだと思いますが、過度な保護はするべきではないと思います。
女性	20才	生物多様性は私たち個人レベルだけでなく企業や地方公共団体なども一丸となって守るべきものだと思う。
女性	35才	生物多様性や、自然環境保全は、個人ではなかなか動けない問題だと思うので、行政の方が先頭に立って、市民を牽引していただきたいと思いました。
男性	31才	生物多様性や自然環境保全は結局は自分たちの住み良さにつながっていくので、なおさら積極的に活動していきたい。
女性	38才	生物多様性を守るためにもよりよい生活が送れるように今まで以上に自然環境を見直していく必要があると感じた。
女性	36才	西蒲区では自然環境が良すぎるので、それをいかして田舎を活性化してほしい。
女性	33才	税金はあまり使わないで。

【生物多様性及び自然環境保全等についての自由意見（8／9）】

性別	年齢	ご意見
男性	35才	昔から続く当たり前のことが、これからも続くようにしたい。
女性	47才	昔と生態系がかわってしまったことを進化ととして受け止めるのも仕方ない時期なのかもしれないが、できることなら日本のものを大事にしたい。世の中流れているのは恐竜が減じた昔からあるのだから無理に保存保存もどうかと思うが、人間が神なわけでないのだから人間だけよいという発展は考えていったらいいと思う。
女性	44才	昔のように子どもが自然にふれあえるあたり前の環境になったら……。
男性	38才	積極的なPRがほしい。
女性	33才	積極的に知りたい。
男性	40才	積極的に進めるべき。
男性	53才	折り合い点をどこに見い出すが一番の問題点。
男性	48才	節電したとしても、電力会社の発電量が変わらなければ使わなかった電力は無駄になる。節電が報われる世の中になってほしい。炭素を含むごみも無駄に燃やしてはCO ₂ の現象は防げない。炭素を地中に封じ込めるようにしない限り大気中のCO ₂ は変わらない。地中から出た炭素が原因ならば、同量の炭素を含む物質を地中に戻さなければ何の解決にもならない。生態系を学んだものなら誰でも気がつくはずである。自分の損得ばかり追いかける経済優先の生活がそんな簡単なことまで気づかせないのかもしれない。
女性	48才	絶滅していく種があるのは仕方ないことなのかも思う。ただ外来種が元々ある種を脅かしていくのは、努力や意識の喚起でも少し何かならないのかと、もどかしく思っている。
女性	41才	絶滅危惧種とされているミズアオイが、その辺の田んぼの用水路に雑草の如く大量に生息している…新潟市はそういうところですか。そういうのを見ると、大仰に自然保護を謳うってのも自己満足でしかない部分があるのではないかと。現状見極めて行動することが大切だと思う次第です。
男性	20才	絶滅危惧種の生物をできるだけ保護して、絶滅しないようにしてほしい。
女性	49才	絶滅危惧種保護を謳うのも自由だが、それが自然淘汰であれば人の力ではどうにか出来ると思うのは傲慢だと思う。それによって、生態系バランスが崩れ、また、別の不具合が出てきて、保護したはずの生物を駆除対象にしたり…。たとえ小さくても、目先の事、自分の手の届く範囲で何かして行けばいいのではないかと…。
女性	54才	絶滅種が増えることはいずれ人類が絶滅する警鐘と思います。
男性	51才	絶滅種を減らしていく努力が必要。
女性	41才	先日テレビで外来種が絶滅危惧種を危険にさらしている映像を観て、まだまだ知らないことがたくさんあると思いました。
女性	38才	専門家ではないので、難しい事は判らないが、都会に住んでいても、鉢植えにした花々や、街路樹に集まる鳥や虫を、観察するのは好きである。こういう生きものを「皆無」にしてはいけない。都会に住む人間の傲慢やエゴもあるが、それでも、出来る範囲で身近に動植物が存在する環境の方が、絶対に住みよい環境である筈だと思う。
女性	32才	川や森、海などに行った時にごみは持ち帰るなど、一人一人ができることをしっかりと行うことで、いい結果が生まれるのではないかとと思う。
女性	37才	前は、簡単にいろいろな建物が建ったりしていたが、自然を壊し、莫大なお金をかけてまで、本当に必要なのか？又、大型ショッピングセンターの進出など、人間の欲のエゴだと思う。
女性	45才	多くの人が少しずつでも今の環境を保全できるように考えて生活していけるといいと思います。
男性	21才	大学などでアピールしたらいいと思う。
女性	44才	大事にしなければならない。
女性	32才	大人になってからの方が生物多様性・自然環境保護の重要性を感じるようになってくるので、情報発信をしてほしいし、自分自身でも情報を得る努力をしたいと思う。
女性	26才	大切なことかもしれないけど、今お金や時間を費やすところはそこなのかな。。。と誤ってしまいました。
女性	22才	大切なことだとは思いますが、あまり身近な関わりがないから興味を持ってない。
女性	37才	大切にしたい。
男性	40才	大切に作る。
男性	34才	脱原発、省エネ、里山保護等を心がけるべきだと思う。
女性	53才	地球は改めて人間だけの物ではない事をしっかりと考えなくてはならないと思いました。
男性	74才	地球を形成する全ての存在物質はそれぞれに役目を持っていて無用なものはないと信じている。
男性	46才	地球温暖化が一番悪影響をしている。人間が一番悪い。
男性	59才	地球全体が、おかしくなってきているから生物多様性、自然環境保全などに少し意識して生活していきたいと思います。
女性	51才	町が発展するのでもいいけどエリアをもうけてでも古くからの生物の居場所などを大切にしていきたい。その確認もこめて水と土の芸術祭はいいことだと思う。
女性	44才	直ぐ近くの河川敷に前は背の高い雑草がはえていました。今は生えなくなりましたが、それは薬品を撒いて枯らしているに過ぎないし、その害を考えると怖くて行かなくなった。何が言いたいのか？というと、人間の都合の良いように自然に手を入れるとかえって悪い結果になることもあるのです。
男性	52才	テレビ番組（鉄腕DASH）が最も参考になると思います。現在、番組撮影地は放射能の件で、何も出来ない状態なのですが、このテレビ番組を見て生物多様性を学んだような気がします。また、番組内で現在も続いている海岸の取り組みでは、干潟がどれほど海の浄化に役立っているかがわかります。新潟も”潟”です！行政がどうのこうのというより、このテレビ番組を一般市民に見て頂いた方が生物多様性や自然環境保護に対する関心が深まると思います。

【生物多様性及び自然環境保全等についての自由意見（9／9）】

性別	年齢	ご意見
男性	39才	天候の変化などは、環境破壊だけが原因ではないと思うが、一人ひとりが注意して生活していくことは大事だと思う。意識を変えるにしても、長い時間がかかる事だから、教育が大事だと思う。
男性	38才	東日本大震災の津波やタイの浸水等改めて水の恐ろしさを感じた。
男性	54才	動植物連鎖を止めないよう工夫して欲しい。
男性	27才	特に工業汚染に気を遣うようにしてもらいたい。
女性	50才	難しいことではあるが、専門家以外は容易に入ることのできない自然保護区を作るべきだと思う。
女性	34才	難しいテーマなので、詳しい知識がない私が気軽に関われることじゃないと思いました。
男性	48才	日々の生活と自然との距離が遠くなっている。
男性	40才	日々の生活の中では特に意識したことも無かったが、実は大変な事が起こっている気がしました。
男性	53才	日本固有の生態系の大切さをもっと評価すべき。
男性	43才	日本全国東京化する必要は無い。新潟は「田舎」のままが良い。こういったことは行政は余計な介入はしないで市民、県民への啓蒙活動程度に留めるべき。
男性	55才	物理的に無理だと思いますが、日本にいない外来種の動植物を何らかの方法で排除したい。
女性	36才	便利な生活より、美しい景色を大事にしたい。
男性	37才	便利になることも大切ですが、その中で自然が壊されていることも認識する必要があると思います。大量消費の考え方も改めたいと思っています。
女性	32才	便利に便利にと移ろってきたが、これからは自然の状態に近づけるように近づけるようにしていく時代なのかもと思う。特に節電はこの夏にできたのだから継続していきたいと思う。
女性	37才	暮らしよさ、便利さとは相反するので難しいところだと思う。
女性	25才	幼児期からのマナーとモラルの教育が肝心だと思う。
女性	25才	幼児期からの教育が肝心。
女性	35才	里山探検などの募集を最近よく見る気がする。こういった機会が増えるといいと思う。
女性	47才	例えばカタツムリは、絶滅危惧種になったが、私くらいの年齢では、つかまえて飼ったりすることが当たり前だった。それが、今では飼うこともできないくらい大変なことになってきている。そういうことをまず、皆に知らしめなくてはいけないと思う。市報やチラシなどで大切にすべき生物リストを載せてはどうか？